

前川善兵衛寄進の石仏

(村有形文化財)

指定年月日 昭和 51 年 5 月 24 日

四代目前川善兵衛こと富昌は、江戸時代中期に野田村の中野家に生まれ、大槌通り吉里吉里の豪商前川家の養子となった人です。

前川家は代々「善兵衛」を名乗り、南部藩の特権商人として藩の財政を支え、「みちのくの紀伊国屋文左衛門」とも称されるようになります。

藩内有数の富豪となった四代目善兵衛富昌ですが、故郷の野田村を忘れることはなく、この石仏（薬師如来・不動明王）のほか、稲田 70 刈や唐金の火鉢を海蔵院に寄進しました。

